

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10133844 A

(43) Date of publication of application: 22.05.98

(51) Int. Cl.

G06F 3/14
G06F 13/00
G09G 5/00
G09G 5/00
G09G 5/00
G09G 5/34

(21) Application number: 08285005

(22) Date of filing: 28.10.96

(71) Applicant: PFU LTD

(72) Inventor:
KUBOTA AKIRA
ABE SHINYA
KITAMURA KOJI
HAMANO TOSHIKUNI
TSUKUDA KOTARO

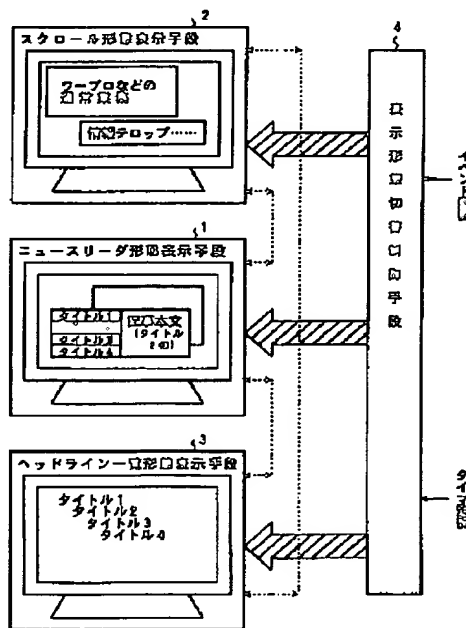
(54) BUSINESS INFORMATION DISPLAY CONTROL SYSTEM, AND METHOD THEREFOR

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and optionally switch the display format of business information in accordance with the using state of a terminal user by controlling a news reader format display means, a scroll format display means, and a head line list format display means, and switching and displaying the display format of business information.

SOLUTION: The news reader format display means 1 displays business information on a client terminal. When a normal operation screen is displayed, the scroll format display means 2 repeatedly displays a head line in a telop state by using a part of the screen, e.g. a lower line of the screen, while scrolling the head line in a horizontal direction for instance. The head line list format display means 3 displays a list of head lines on the whole screen. A display format switching control means 4 controls these three display means 1 to 3 and switches and displays the display format of business information.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-133844

(43)公開日 平成10年(1998)5月22日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	F I		
G 0 6 F 3/14	3 6 0	G 0 6 F 3/14	3 6 0 A	
			3 6 0 D	
13/00	3 5 7	13/00	3 5 7 Z	
G 0 9 G 5/00	5 1 0	G 0 9 G 5/00	5 1 0 B	
	5 3 0		5 3 0 T	
審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 8 頁) 最終頁に続く				

(21)出願番号 特願平8-285005

(22)出願日 平成8年(1996)10月28日

(71)出願人 000136136

株式会社ピーエフユー

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2

(72)発明者 久保田 旭

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内

(72)発明者 阿部 信也

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内

(74)代理人 弁理士 森田 寛 (外1名)

最終頁に続く

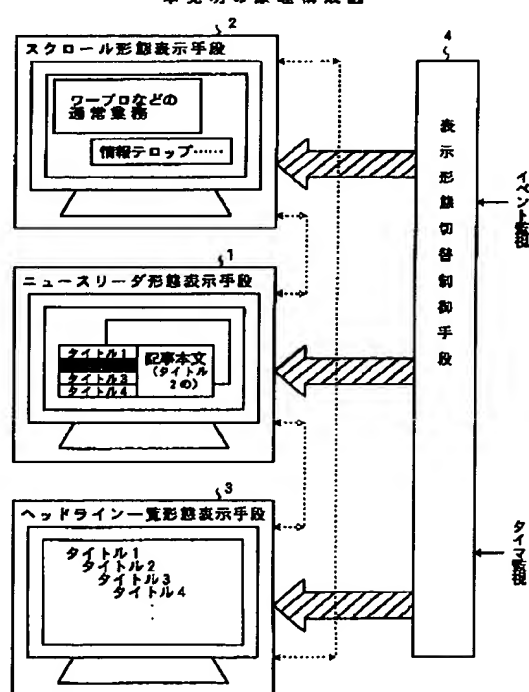
(54)【発明の名称】 ビジネス情報表示制御システム及び方法

(57)【要約】

【課題】本発明は、通常の業務を継続しつつ、各種サーバより受配信される社外情報、社内情報等のビジネス情報を、ワープロ等の通常業務中にもクライアント端末上でリアルタイムに知ることができ、必要があればその詳細を表示、切替えることができるようにすることを目的としている。

【解決手段】各種サーバより提供される社外情報、又は社内情報等のビジネス情報をクライアント端末上に表示するニュースリーダー形態表示と、ワープロ等の通常業務画面を表示しているときに、画面下方の一行を使って、前記ビジネス情報のヘッドラインを水平方向にスクロールさせながら、テロップ状態で繰り返し表示するスクロール形態表示と、画面全体を使って情報のヘッドラインを自動的に更新表示するヘッドライン一覧形態表示とを切替え表示する。

本発明の原理構成図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】サーバより受配信される社外又は企業内のビジネス情報をクライアント端末表示画面に表示するビジネス情報表示制御システムにおいて、
受配信された複数記事の中から特定の記事を選択して表示することのできるニュースリーダ形態表示手段と、
通常業務表示画面の一部において前記ビジネス情報のヘッドラインをスクロール表示するスクロール形態表示手段と、
表示画面の全体に前記ビジネス情報のヘッドライン一覧を自動的に更新表示するヘッドライン一覧形態表示手段と、
前記ニュースリーダ形態表示手段、前記スクロール形態表示手段、及びヘッドライン一覧形態表示手段の間の切替を制御する表示形態切替制御手段とを備えて、
前記ビジネス情報の表示形態を切替え表示することを特徴とするビジネス情報表示制御システム。

【請求項 2】前記表示形態切替制御手段による切替えが、端末利用者の端末使用状況によって行われる請求項 1 に記載のビジネス情報表示制御システム。

【請求項 3】前記ビジネス情報の表現形態が、前記表示形態切替制御手段の切替えに応じて切替えられる請求項 1 又は請求項 2 に記載のビジネス情報表示制御システム。

【請求項 4】クライアント端末に表示される前記ビジネス情報は、必要度又は公開度に応じて各表示形態毎に表示するか否かを設定した情報管理テーブルに基づき行われる請求項 1 ～請求項 3 に記載のビジネス情報表示制御システム。

【請求項 5】サーバより受配信される社外又は企業内のビジネス情報をクライアント端末表示画面に表示するビジネス情報表示制御方法において、
受配信された複数記事の中から特定の記事を選択して表示することのできるニュースリーダ形態の表示と、
通常業務表示画面の一部において前記ビジネス情報のヘッドラインをスクロール表示するスクロール形態表示と、
表示画面の全体に前記ビジネス情報のヘッドライン一覧を自動的に更新表示するヘッドライン一覧形態表示とを切替制御して、
前記ビジネス情報の表示形態を切替え表示することを特徴とするビジネス情報表示制御方法。

【請求項 6】前記表示形態の切替えが、端末利用者の端末使用状況によって行われる請求項 5 に記載のビジネス情報表示制御方法。

【請求項 7】前記ビジネス情報の表現形態が、前記表示形態の切替えに応じて切替えられる請求項 5 又は請求項 6 に記載のビジネス情報表示制御方法。

【請求項 8】クライアント端末に表示される前記ビジネス情報は、必要度又は公開度に応じて各表示形態毎に表

示するか否かを設定した情報管理テーブルに基づき行われる請求項 5 ～請求項 7 に記載のビジネス情報表示制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、社外又は企業内情報の必要度、又は公開度が設定されたビジネス情報を、ワープロ等の通常業務を行うクライアント端末表示画面上に、種々の形態で表示するビジネス情報表示制御システム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】各種サーバより受配信されるビジネス情報、即ち、新聞ニュース、天気予報等の社外情報、又は社達、事務局からのお知らせ等の社内情報を、クライアント端末において受信し表示することは、従来より行われていたが、ワープロ等の通常業務を行っているときに、その業務を行いつつ、サーバより受配信されるビジネス情報をリアルタイムに知ることはできなかった。各種サーバより提供されるこの種ビジネス情報の内容は時間の経過につれて更新され、変化するものであるのに対して、例えば、ワープロ等の通常業務を行っているときには、その変化する情報の内容を表示することはできず、従来は、ビジネス情報を表示するために、実行中のワープロ等の通常業務を中断し、受配信されるビジネス情報のヘッドライン一覧又はその詳細を表示する画面に切替える必要があった。これは、明らかに効率的なものではない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、通常の業務を継続しつつ、各種サーバより受配信される社外情報、社内情報等のビジネス情報を、リアルタイムに知ることができ、必要があればその詳細をクライアント端末に表示、切替えることができるようにすることを目的とするものである。

【0004】そして、前記表示形態切替制御手段による切替えを、端末利用者の使用状況によって容易かつ任意に行うことを目的とするものである。さらに、前記ビジネス情報の表現形態が、前記表示形態切替制御手段の切替えに応じて、利用者の好みに応じて任意に切替えられることを目的とするものである。

【0005】さらに、クライアント端末に表示される前記ビジネス情報は、必要度又は公開度に応じて各表示形態毎に表示するか否かを設定した情報管理テーブルに基づき利用者が利用者の好みに応じてカスタマイズすることを容易にすることを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】図 1 は本発明の原理構成図を示し、図中の符号 1 はニュースリーダ形態表示手段、2 はスクロール形態表示手段、3 はヘッドライン一覧形態表示手段、そして 4 は表示形態切替制御手段を表

している。

【0007】ニュースリーダ形態表示手段1は、各種サーバより提供される社外情報、又は社内情報、即ちビジネス情報をクライアント端末上に表示する手段であり、受配信された複数記事の中から特定の記事を選択して表示することができる。このニュースリーダ形態での表示において、多数のコンテンツを階層構造で表示することができる。さらに、その下層に記事ヘッドライン一覧を表示し、そのヘッドライン一覧から選択した記事の本文を閲覧画面に表示することができる。

【0008】スクロール形態表示手段2は、ワープロ等の通常業務画面を表示しているときに、画面の一部を使って、ヘッドラインをスクロールさせながら、テロップ状態で繰り返し表示するものである。このスクロール形態での表示においては、通常業務を行いつつも、どのようなビジネス情報がサーバより受配信されているのかを知ることができる。利用者は、スクロールされているヘッドライン上をダブルクリックすることにより記事本文をクライアント端末画面上に表示することができる。

【0009】ヘッドライン一覧形態表示手段3は、画面全体にヘッドラインの一覧を表示する。この表示は、表示画面上で自動的に更新されるように表示される。即ち、ヘッドライン一覧が、一定時間において自動的に切替えられ一部づつ表示されるか、或いは、画面をスクロールさせつつ表示される。このように、画面全体を使って、しかも、その表示を時間の経過につれて変化させることにより、表示ディスプレイの焼き付きを防止することができる。

【0010】表示形態切替制御手段4は、これら3つの表示手段、即ち、ニュースリーダ形態表示手段1、スクロール形態表示手段2、及びヘッドライン一覧形態表示手段3を制御して、ビジネス情報の表示形態を切替えて表示するものである。この表示形態切替制御手段による表示形態の切替は、キー押下又はマウス操作等のイベントの発生を監視し、これを検出することにより、また、キー押下又はマウス操作等が一定時間行われなかったことを、タイマで監視し、これを検出することにより行われる。本発明は、このようにして、サーバより提供されるビジネス情報の表示形態を切替え表示することができる。

【0011】

【発明の実施の形態】請求項1に記載の発明は、サーバより受配信される社外又は企業内のビジネス情報をクライアント端末表示画面に表示するビジネス情報表示制御システムにおいて、受配信された複数記事の中から特定の記事を選択して表示することのできるニュースリーダ形態表示手段と、通常業務表示画面の一部において前記ビジネス情報のヘッドラインをスクロール表示するスクロール形態表示手段と、表示画面の全体に前記ビジネス情報のヘッドライン一覧を自動的に更新表示するヘッド

ライン一覧形態表示手段と、前記ニュースリーダ形態表示手段、前記スクロール形態表示手段、及びヘッドライン一覧形態表示手段の間の切替を制御する表示形態切替制御手段とを備えて、前記ビジネス情報の表示形態を切替え表示することを特徴とするビジネス情報表示制御システムを構成したものである。

【0012】請求項1に記載の発明における前記表示形態切替制御手段による切替えを、端末利用者の使用状況によって行うことができ（請求項2に記載の発明）、前記ビジネス情報の表現形態が、前記表示形態切替制御手段の切替えに応じて切替えることができ（請求項3に記載の発明）、そして、クライアント端末に表示される前記ビジネス情報は、必要度又は公開度に応じて各表示形態毎に表示するか否かを設定した情報管理テーブルに基づき行うことができる（請求項4に記載の発明）。

【0013】そして、請求項5に記載の発明では、サーバより受配信される社外又は企業内のビジネス情報をクライアント端末表示画面に表示するビジネス情報表示制御方法において、受配信された複数記事の中から特定の記事を選択して表示することのできるニュースリーダ形態の表示と、通常業務表示画面の一部において前記ビジネス情報のヘッドラインをスクロール表示するスクロール形態表示と、表示画面の全体に前記ビジネス情報のヘッドライン一覧を自動的に更新表示するヘッドライン一覧形態表示とを切替制御して、前記ビジネス情報の表示形態を切替え表示することを特徴とするビジネス情報表示制御方法を構成したものである。

【0014】請求項5に記載の発明における前記表示形態の切替えを、端末利用者の使用状況によって行うことができ（請求項6に記載の発明）、前記ビジネス情報の表現形態が、前記表示形態の切替えに応じて切替えることができ（請求項7に記載の発明）、そして、クライアント端末に表示される前記ビジネス情報は、必要度又は公開度に応じて各表示形態毎に表示するか否かを設定した情報管理テーブルに基づき行うことができる（請求項8に記載の発明）。

【0015】以下、図1を参照して本発明の実施の形態を更に説明する。ニュースリーダ形態表示手段1は、各種サーバより提供される社外情報、又は社内情報、即ちビジネス情報をクライアント端末上に表示する手段であり、受配信された複数記事の中から特定の記事を選択して表示することができる。クライアント端末上に表示するビジネス情報の詳細は、図5～図8と関連して後述するが、本願明細書において、コンテンツとは、天気予報、スポーツ等の情報の種別を意味するものとして用いている。このニュースリーダ形態での表示において、多数のコンテンツを階層構造で、例えば、スポーツというコンテンツの下にさらに複数の種別、野球とか、相撲を表示することができる。さらに、その下層に記事ヘッドライン一覧を表示し、そのヘッドライン一覧から選択し

た記事の本文を閲覧画面に表示することができる。また、記事ヘッドラインとは、該コンテンツに含まれる記事のタイトル、又は要約、もしくはこれらの組み合わせを意味するとして用いているが、単に「ヘッドライン」又は「情報のヘッドライン」とある時は、上記記事ヘッドラインだけでなく、必要に応じてコンテンツ名称をも包含するものとして本願明細書では用いている。

【0016】そして、このような階層構造での表示は、1画面を画面分割して、或いは画面を切替えることによって行うことができるし、また、画面全体を使って表示することも、画面の一部を残した状態で表示することもできる。このように、画面の一部を残して表示した場合、同時実行中のワープロ等の通常業務を認識することができるから、通常業務の表示に切替えるに際しても、この一部覗いている裏画面を単にクリックするのみで行うようにすることができる。

【0017】スクロール形態表示手段2は、ワープロ等の通常業務画面を表示しているときに、画面の一部、例えば、画面の下方の一行を使って、ヘッドラインを、例えば水平方向に、スクロールさせながら、テロップ状態で繰り返し表示するものである。さらに、このスクロールされているヘッドラインの文字高さ、或いは表示域の横幅は任意に変更可能に構成することができるし、また、スクロール速度を変更可能に構成することができる。

【0018】このスクロール形態での表示においては、通常業務を行いつつも、どのようなビジネス情報がサーバより受配信されているのかを知ることができる。利用者は、スクロールされているヘッドライン上をダブルクリックすることにより、ダブルクリックされた特別の記事の本文を直ちにニュースリーダ形態表示画面に切替え、該表示画面上で特定の記事を選択し、閲覧するように構成することもできる。

【0019】ヘッドライン一覧形態表示手段3は、画面全体にヘッドラインの一覧を表示する。この表示は、表示画面上で自動的に更新されるように表示される。即ち、ヘッドライン一覧が、一定時間をおいて一部ずつ自動的に切替え表示されるか、或いは、画面をスクロールさせつつ表示される。このように、画面全体を使って、しかも、その表示を時間の経過につれて変化させることにより、表示ディスプレイの焼き付きを防止するスクリーンセバとして機能させることができる。なお、ヘッドラインの更新切替えは、利用者のキー押下、又はマウスの操作によっても可能にできる。

【0020】表示形態切替制御手段4は、これら3つの表示手段、即ち、ニュースリーダ形態表示手段1、スクロール形態表示手段2、及びヘッドライン一覧形態表示手段3を制御して、ビジネス情報の表示形態を切替えて表示するものである。この表示形態切替制御手段による表示形態の切替は、キー押下又はマウス操作等のイベン

トの発生を監視し、これを検出することにより、また、キー押下又はマウス操作等が一定時間行われなかったことを、タイマで監視し、これを検出することにより行われる。そして、このように、ビジネス情報の表現形態は、1行ヘッドライン表示とか、ヘッドライン一覧表示とかのように、表示形態切替制御手段の切替えに応じた独特のものとされている。

【0021】図2～図4は、本発明実施例の表示形態の切替の詳細を示すフローチャートである。まず、図2は、ニュースリーダ形態で表示しているときの他の表示形態への切替を示している。この切替は、端末利用者の端末利用状況、即ち、キー押下又はマウス操作とか、或いは一定時間利用者による端末操作が無かったとかを検出することにより行われる。

【0022】今、ステップ1のニュースリーダ形態表示をしているとする。ステップ2では、「他のアプリケーションへの切替」を意味するキー押下又はマウス操作等のイベントを監視し、それを検出したときに、他のアプリケーションに切替えかつ表示画面をステップ3の如く1行スクロール形態表示に切替える。ニュースリーダ形態表示をしているときに、ワープロ、表計算などのアプリケーションの通常業務に戻るとき、或いは、新たにこれらアプリケーションを立ち上げるときは、従来公知の方法、特別のキー押下又はマウス操作により行うことができるが、切替えられた後の通常業務画面の表示形態は、本発明に従い構成された独自のものである。即ち、ワープロ等の通常業務画面の一部、例えば、画面の下方の一行を使って、ビジネス情報のヘッドラインを、例えば水平方向に、スクロールさせながら、テロップ状態で繰り返し表示するものである。イベントの検出がないときに次のステップ4に進む。

【0023】ステップ4においては、一定時間利用者による操作がなかったことがタイマ監視され、一定時間の無操作が検出されたときに、表示形態をステップ5の如くヘッドライン一覧形態表示に切替え、さもなくば、ニュースリーダ形態表示を継続する。ヘッドライン一覧形態表示は、画面全体を使って多数の情報のヘッドラインを表示画面上で一定時間をおいて自動的に切替えつつ表示され、或いは利用者のキー押下又はマウスの操作に応じて切替え表示されるが、また、画面をスクロールさせることもできる。

【0024】図3は、1行スクロール形態表示をしているときの他の表示形態への切替を示している。今、ステップ6の如く、ワープロ、表計算等のアプリケーションで通常業務をしているとする。このとき、表示画面の一部、例えば、画面の下方の一行を使って、ビジネス情報の例えばヘッドラインのみをスクロールさせながら、テロップ状態で繰り返し表示している。この1行スクロール形態表示の時には、ワープロ、表計算等の通常業務を行いつつも、画面下方でスクロール表示されているビジ

ネス情報のヘッドラインを認識することができる。そして、利用者がそのヘッドラインを見て、そのヘッドラインに対応する記事の詳細を知りたいときには、ニュースリーダ形態表示に表示画面を切替えるようにする。この切替えは、今、ステップ7において、「ニュースリーダ形態表示への切替え」を意味するイベントの発生を検出したとき、例えば、スクロールされている表示上での利用者によるダブルクリックを検出したとき、ステップ8の如くニュースリーダ形態表示に切替えられる。

【0025】ステップ9においては、一定時間利用者による操作がなかったことがタイマ監視され、一定時間の無操作が検出されたときに、ステップ10の如く表示形態を前述のヘッドライン一覧形態表示に切替え、さもなければ、通常業務画面下方での1行スクロール形態表示を継続する。

【0026】図4は、ヘッドライン一覧形態表示をしているときの他の表示形態への切替えを示している。ヘッドライン一覧形態表示は、本発明の他の2つの表示形態、即ち、ニュースリーダ表示形態、或いは1行スクロール表示形態にあるときに、一定時間の無操作がタイマ監視されて、これを検出することにより切替えられたものであることは前述したとおりである。今、ステップ11の如くヘッドライン一覧形態表示が行われているとする。このとき、画面全体を使っていわば全ての情報のヘッドラインを表示する。この際、ビジネス情報のヘッドラインは、表示画面上で自動的に更新されるように表示される。即ち、ヘッドライン一覧が、一定時間において自動的に切替え一部づつ表示されるか、或いは、画面をスクロールさせつつ次々と表示される。このように、画面全体を使って、しかも、その表示を時間の経過につれて変化させることにより、表示ディスプレイの焼き付きを防止するスクリーンセーブとして機能させることができる。

【0027】ステップ11に示すヘッドライン一覧形態表示から、他の形態表示への切替えは、イベント発生を検出により行われる。ステップ12において、第1のイベント、例えば、ESCキーの押下を検出することにより、通常業務の最後に仕事をしていた時の状態（ステップ13）に戻る。そして、ステップ14において、第2のイベント、例えば、ヘッドライン上のダブルクリックが検出されると、ステップ15の如くニュースリーダ形態表示に切替えられる。この切替えにより、ダブルクリックされた特定の記事の本文を表示することができるが、また、その選択画面を表示し、この選択画面で特定の記事を選択し、記事本文を表示することもできる。

【0028】図5～図8は、各表示形態毎の表示コンテンツ一覧の管理テーブルの一例を示している。まず、図5は、サーバ内に所有しているオリジナルのコンテンツ一覧を示している。サーバ管理者は、種々の情報を利用者に配信するが、その際、必要度に応じて、社員皆に読

ませたい重要性の高い情報、例えば、社達、事務局からのお知らせ等には、「必読」属性を付加する。また、公開度に応じて、社員皆からはアクセス不可能にし、管理職のみ閲覧可能とする。即ち、情報の入手時にパスワードが要求され閲覧者を限定する。さらに、社員が読む必要のない嗜好性の高い情報、例えば、ギャンブル、ポルノ等は閲覧禁止にされる。このような基準で、「必読」又は「禁止」又は「限定」属性の付加されたオリジナルのコンテンツ一覧テーブルがサーバに登録される。

10 【0029】利用者は、このようなオリジナルのコンテンツ一覧から、ニュースリーダ形態表示用、1行スクロール形態表示用、及びヘッドライン形態表示用のためのそれぞれのコンテンツ一覧を、利用者各位の好みに応じて自由にカスタマイズすることができる。即ち、利用者は、それぞれの表示用のために、表示するか否か、或いは表示の順番を自由に設定することができる。ただし、「必読」属性の付加されたコンテンツを削除することはできない。利用者は、利用者毎に設定した各管理テーブル、即ち、図6に示されるようなニュースリーダ形態表示用コンテンツ一覧の管理テーブル、図7に示されるような1行スクロール形態表示用コンテンツ一覧の管理テーブル、及び図8に示されるようなヘッドライン一覧形態表示用コンテンツ一覧の管理テーブルをサーバ或いはクライアント端末に所有している。このような管理テーブルを用いることにより、情報の必要度又は公開度に応じて、利用者は利用者毎に各表示形態のためにカスタマイズした情報をクライアント端末上に表示することができる。

30 【0030】上記説明において、発明の対象をシステムおよび/または方法として記述したが、当該システムおよび/または方法がフロッピディスクやCD-ROMなどの記憶媒体中に情報として記述されていてもよく、またダウンロードによってハードディスクなどの記憶媒体にロードされてもよく、いずれも、本願発明の技術的範囲に属するものと解すべきである。

【0031】

40 【発明の効果】本発明によれば、サーバより受配信される社外又は企業内のビジネス情報をクライアント端末表示画面に表示する際に、ニュースリーダ形態表示と、通常業務表示画面の一部において前記ビジネス情報のヘッドラインをスクロール表示するスクロール形態表示と、表示画面の全体に前記ビジネス情報ヘッドラインの一覧を表示するヘッドライン一覧形態表示とを任意かつ容易に切替え表示することができる。特に、通常業務表示画面の一部にビジネス情報のヘッドラインをスクロール表示したことにより、通常の業務を継続しつつ、各種サーバより受配信される社外情報、社内情報等のビジネス情報を、リアルタイムに知ることができ、必要があればその詳細をクライアント端末に表示、切替えることができる。

【0032】また、画面全体にヘッドラインの一覧を、表示画面上で自動的に更新されるように表示することにより、表示ディスプレイの焼き付きを防止するスクリーンセーバとして機能させることができる。

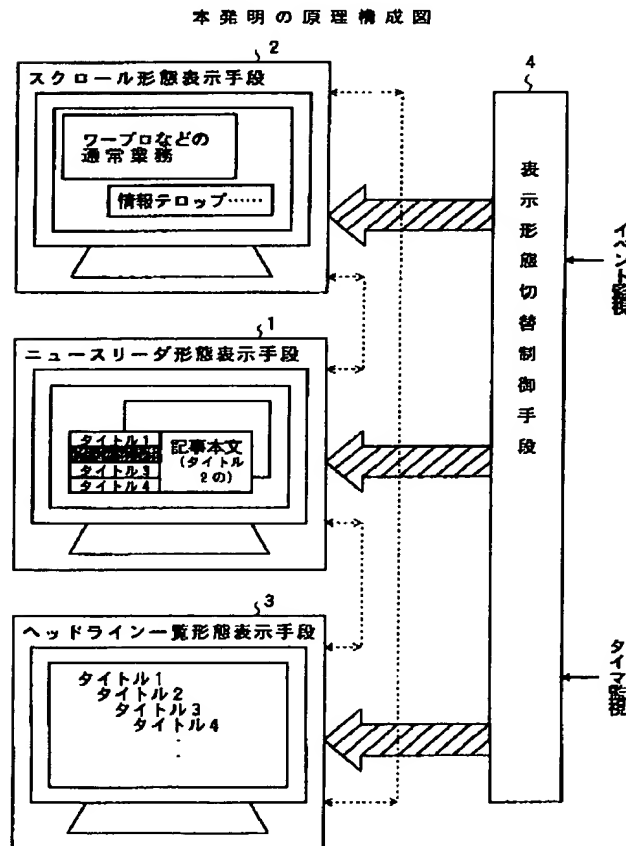
【0033】そして、前記表示形態切替制御手段による切替えを、端末利用者の使用状況によって容易かつ任意に行うことが可能になる。さらに、前記ビジネス情報の表現形態が、前記表示形態切替制御手段の切替えに応じて、利用者の好みに応じて任意に切替えられることが可能になる。さらに、クライアント端末に表示される前記ビジネス情報は、必要度又は公開度に応じて各表示形態毎に表示するか否かを設定した情報管理テーブルに基づき利用者が利用者の好みに応じてカスタマイズすることが容易に可能になるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理構成図を示す。

【図2】本発明実施例の表示形態の切替の詳細を示すフローチャートであり、ニュースリーダー形態で表示しているときの他の表示形態への切替えを示す。

【図1】



* 【図3】本発明実施例の表示形態の切替の詳細を示すフローチャートであり、1行スクロール形態表示をしているときの他の表示形態への切替えを示す。

【図4】本発明実施例の表示形態の切替の詳細を示すフローチャートであり、ヘッドライン一覧形態表示をしているときの他の表示形態への切替えを示す。

【図5】サーバ内に所有しているオリジナルのコンテンツ一覧の管理テーブルの一例を示す。

10 【図6】ニュースリーダー形態表示用コンテンツ一覧の管理テーブルの一例を示す。

【図7】1行スクロール形態表示用コンテンツ一覧の管理テーブルの一例を示す。

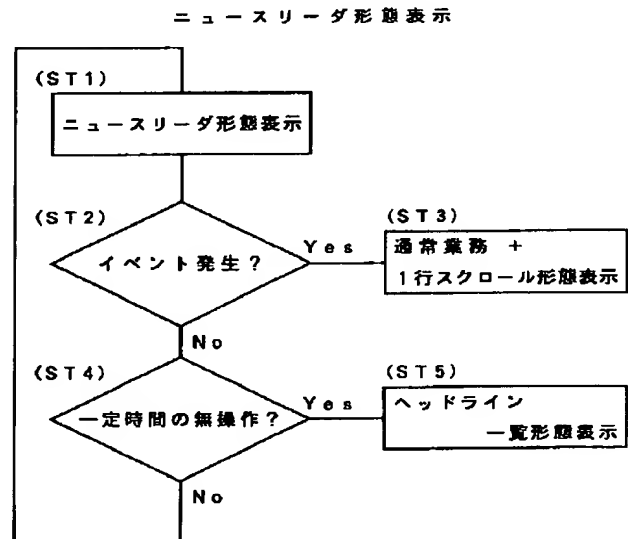
【図8】ヘッドライン一覧形態表示用コンテンツ一覧の管理テーブルの一例を示す。

【符号の説明】

- 1 ニュースリーダー形態表示手段
- 2 スクロール形態表示手段
- 3 ヘッドライン一覧形態表示手段
- 4 表示形態切替制御手段

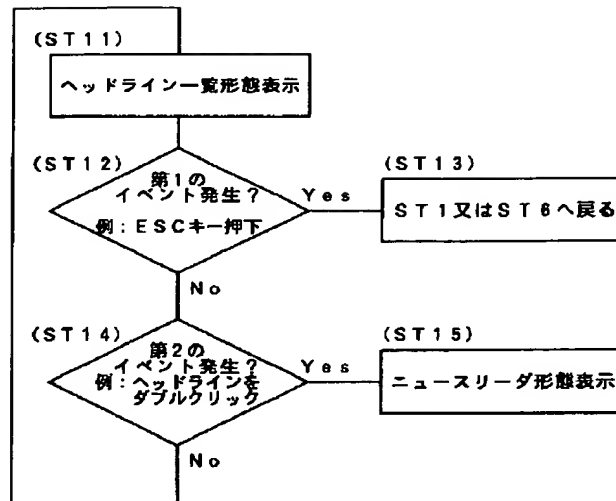
*

【図2】



【図 4】

ヘッドライン一覧形態表示



【図 6】

サーバ内に所有している、ニュースリーダー形態表示用
オリジナルのコンテンツ一覧のコンテンツ一覧

属性	コンテンツ名称	コンテンツ提供サーバ
必	社内人事簿	・ soul.abc.co.jp/news/
-	社内電報	・ soul.abc.co.jp/data/hal/
-	社内第1課部	・ dev1.abc.co.jp/news/
-	ニュース C新报社	・ n14.abc.co.jp/news/cccc/
-	ニュース B新报社	・ n14.abc.co.jp/news/yyyy/
-	ニュース A新报社	・ n14.abc.co.jp/news/eeee/
-	天気予報 日本全国	・ n14.wtr.co.jp/Weather/japan/30/
-	天気予報 通都大府	・ n14.wtr.co.jp/Weather/japan/13/
-	天気予報 世界	・ n14.sml.co.jp/Weather/world/40/

【図7】

1 行 ス ク ロ ー ル 形 態 表 示 用
コ ン テ ン ツ ー 覧

属性	コンテンツ名称	コンテンツ提供サーバ
必	社内 人事課	sumi.abc.co.jp/news/
-	社内 第1課課長	dev1.abc.co.jp/news/
-	ニュース C新聞社	nlw.abc.co.jp/news/cccc/
-	ニュース B新聞社	nlw.abc.co.jp/news/BBBB/
-	ニュース A新聞社	nlw.abc.co.jp/news/aaaa/
-	天気予報 日本全国	nlw.wtr.co.jp/weather/japan/jp/

【図8】

ヘ ッ ド ラ イ ン ー 覧 形 態
表 示 用 コ ン テ ン ツ ー 覧

属性	コンテンツ名称	コンテンツ提供サーバ
必	社内 人事課	sumi.abc.co.jp/news/
-	社内 第1課課長	dev1.abc.co.jp/news/
-	ニュース C新聞社	nlw.abc.co.jp/news/cccc/
-	ニュース B新聞社	nlw.abc.co.jp/news/BBBB/
-	ニュース A新聞社	nlw.abc.co.jp/news/aaaa/

フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁶ 識別記号
G 0 9 G 5/00 5 5 0
5/34

F I
G 0 9 G 5/00 5 5 0 B
5/34 M

(72)発明者 北村 浩二
石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内

(72)発明者 濱野 登志▲邦▼
石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内
(72)発明者 佃 浩太郎
石川県河北郡宇ノ気町字宇野気ヌ98番地の
2 株式会社ピーエフユー内